



埼玉県校外教育協会  
シンボルマーク

# 校外教育

～「郷土愛を育む」埼玉県校外教育協会～

NO.158

令和5年2月発行

一般  
社団法人 埼玉県校外教育協会

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課内

TEL：048-830-6748

ホームページ [埼玉県 校外教育](#)

## 特集 第57回 「郷土を描く児童生徒美術展」



「ねぎねぎランド」  
東松山市立新明小学校 3年 加藤 純一郎さん

### 【作者から】

埼玉県の特産品であるネギをモチーフにして、みんながわくわくするような世界を描きました。ものを作ることや絵を描くことが大好きなので、このような賞をいただけてとても嬉しいです。

これからもみんなの心に届くような作品を描いていきたいです。

### 【保護者から】

ファンタジー小説が大好きな、息子らしい自由な発想で描かれた楽しそうな世界観を色彩豊かに表現した素敵な作品だと感じました。ご指導下さった先生方に感謝しております。このような賞を頂けたことが本人の自信と励みになり、更なる成長の糧になればと願っております。

# 第57回「郷土を描く児童生徒美術展」中央展覧会を終えて

埼玉地区代表

越谷市立西中学校教頭

小林 昭 生

「この♪（音符）にはねー、一つ一つ意味があるんだよ。草をマイクにしたんだ。友達をたくさん描きたかったから地面は少しにしたよ。」

小学校1年生の男の子が、自分の絵について一生懸命説明してくれました。また、

「ドキドキするから、いろんな色を使ったよ。ここは指を使って色をつけたよ。ここは爪楊枝を使ったよ。」

小学校2年生の女の子が、にこにこしながら話してくれました。

令和4年度 第57回「郷土を描く児童生徒美術展」中央展覧会が令和4年12月24日（土）、25日（日）の2日間、埼玉県立近代美術館にて開催されました。昨年に引き続き今回も知事賞作品120点の展示を行いました。2日間で636名の来場がありました。

受賞した児童生徒とその家族が顔を寄せ合って鑑賞している様子や作品の前でおじいちゃんおばあちゃんと一緒に記念写真を撮る姿など心温まる場面をたくさん見ることができました。作者本人に作品について聞いてみると、上記のような話をしてくれました。

中学生作品の作者の言葉には、「みんなが見てほっとする色合いにした」「ふるさとを残したい」「もう見ることもない一瞬の景色を描いた」「光と闇のバランスを考えた」などがありました。

児童生徒はこちらの想像以上に、いろいろな思いや考えをもって描いていることがわかりました。描いてあるもの一つ一つに意味があるのだと感心しました。受賞した120人、一人一人に話を聞いてみたくなりました。

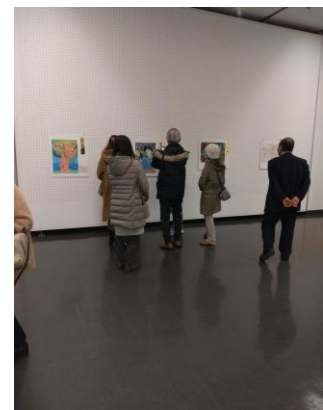
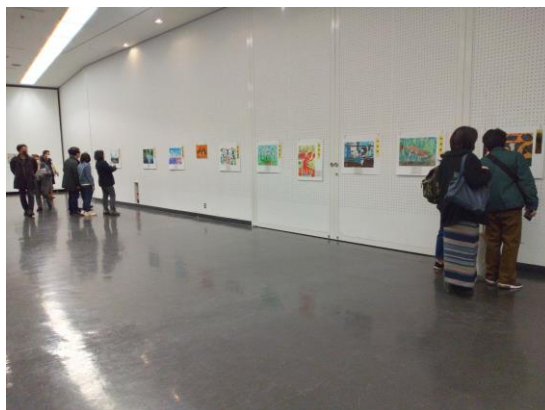
本美術展は、埼玉県校外教育協会と埼玉県美術教育連盟が共催して、作品審査と中央展覧会の運営を行っています。中央展覧会に先立ち県内10地区で行われた地区審査会では、約10,000点の入選作品が選出されました。

中央展覧会の審査と運営は、美術教育連盟の5ブロックが輪番で担当しており、今年度は、東部ブロックの埼玉地区が担当しました。10月12日（水）に蓮田市総合体育館パルシーアリーナで行われた中央審査会では、各地区代表を中心とした審査員が、小学校低学年（1～3年生）、小学校高学年（4～6年生）、中学校（1～3年生）に分かれて慎重に協議・審査を行い、知事賞作品120点を選出しました。

展示された作品はどれも素晴らしく、足を止めて見入ってしまう作品ばかりでした。このような作品が生まれる背景には、作者の思いを大切にしたい図工・美術の授業が行われていることがあります。来年の作品も楽しみです。

結びに、本展覧会を開催するにあたり、ご支援くださいました埼玉県教育委員会、埼玉県校外教育協会、並びに会場の準備・片付け、当日の運営にご協力いただきました埼玉地区美術教育連盟の先生方に心から感謝申し上げます。

## 展覧会当日の様子



## 小学校低学年の審査に携わって 所沢市立北中小学校長 鈴木 勢津子

表現することの中で大切なことは、その子らしさが出ているということです。プロの仕事でも一番魅力的なところは「あの人がつくった」という「癖」のようなものが、痕跡として残っていることだと言われています。

低学年の作品には、「その子らしさ」「その子が見た〇〇」「その子が感じた色や形」が溢れんばかりに表現されていました。

私たちが思いもつかない視点で描かれていた作品はまさにその子の感性であり、感じたままに描かれた作品はその子自身でありました。そのような作品を目にした時、自然と微笑みが浮かび、心が惹きつけられました。

低学年は、「作品から子どもの声」が聞こえ、「描いている子どもの姿」が想像できる、そして何よりその子が表現することを楽しんでいる作品であってほしいと思っています。

## 知事賞作品の紹介（小学校低学年）



「きよだいきゅうりゅう」  
朝霞市立朝霞第六小学校 2年 丹治 敦貴さん

### 【作者から】

ぼくは夏休みにきゅうりをそだてて、大きなきゅうりがとれました。とれたきゅうりと、ぼくのすきなきょうりゅうを絵にかきました。

きょうりゅうの体のうろこをかくのをいっしょうけんめいがんばりました。

### 【保護者から】

大好きな「きゅうり」と「恐竜」を結びつけ、タイトルにもひとひねり加えたあたりは、とてもユニークな発想だなと我が子ながらに感心するとともに、一生懸命取り組み得られた成果は本人にも心に残る貴重な経験になったことと思います。今後も、自由に、豊かに、自己表現してほしいと願っています。



「こおろぎのおんがくかい」  
ふじみ野市立西小学校 1年 宮下 晃輔さん

【作者から】

学校の授業で新河岸川の土手に行き、こおろぎをつかまえました。夜、こおろぎがとてもきれいな声でなっていて、まるで音楽会だなと思いました。こおろぎが星空のステージの中、草のマイクでうたっているところをたのしい気もちでかきました。

【保護者から】

知事賞受賞の連絡を頂き、家族みんなで喜びうれしく思っています。日頃から絵や工作、音楽等で表現することが大好きで、今回も自由な発想で楽しく描くことができたと思います。これからも楽しみながらたくさんの方にチャレンジし自分らしい表現を大切にしたいです。

【作者から】

保育園に通っていた時に、農園で育てたトウモロコシを思い出して描きました。大きくて美味しそうなたウモロコシなので、子供達や鳥さんが持って行こうとしています。沢山のお顔を描いて、仲良しなトウモロコシを表現しました。お空から、雲のジョウロで雨を降らせる所も工夫しました。

【保護者から】

娘は幼少の頃から、頭の中で想像したものを、絵や工作で表現するのが好きでした。実際には不可能なこと（例えば人間が自分で空を飛ぶこと等）も、絵の世界では何でも表現出来るから楽しいと話をしていました。今回も、トウモロコシの一粒一粒に表情をつけ、見ていて楽しくなる作品が描けたと思います。

東松山市立唐子小学校  
2年 中村 袖月さん  
「トウモロコシがぬすまれた！」



「とってもとってもうれしいな  
幻の子牛がうまれたよ」  
深谷市立本郷小学校 3年 須藤 えまさん

【作者から】

子牛を無事に産んで、ほっとしている母牛と、それを見ている子牛の様子を描きました。スクラッチという方法を使って、雲のもくもくした感じと、牛の毛並みを表現しました。知事賞がもらえるなんて、思ってもいなかったもので、とてもびっくりしました。これからも、大好きな絵を描きつづけたいです。

【保護者から】

今回の受賞を、家族全員大変嬉しく思っております。幼い頃から生き物や自然が大好きな娘らしい、じんわりとした素敵な絵だと感じました。彼女の更なる活躍を期待しつつ、その成長を見つめていきたいと思っております。共に見守り、ご指導下さった先生方、どうもありがとうございました。

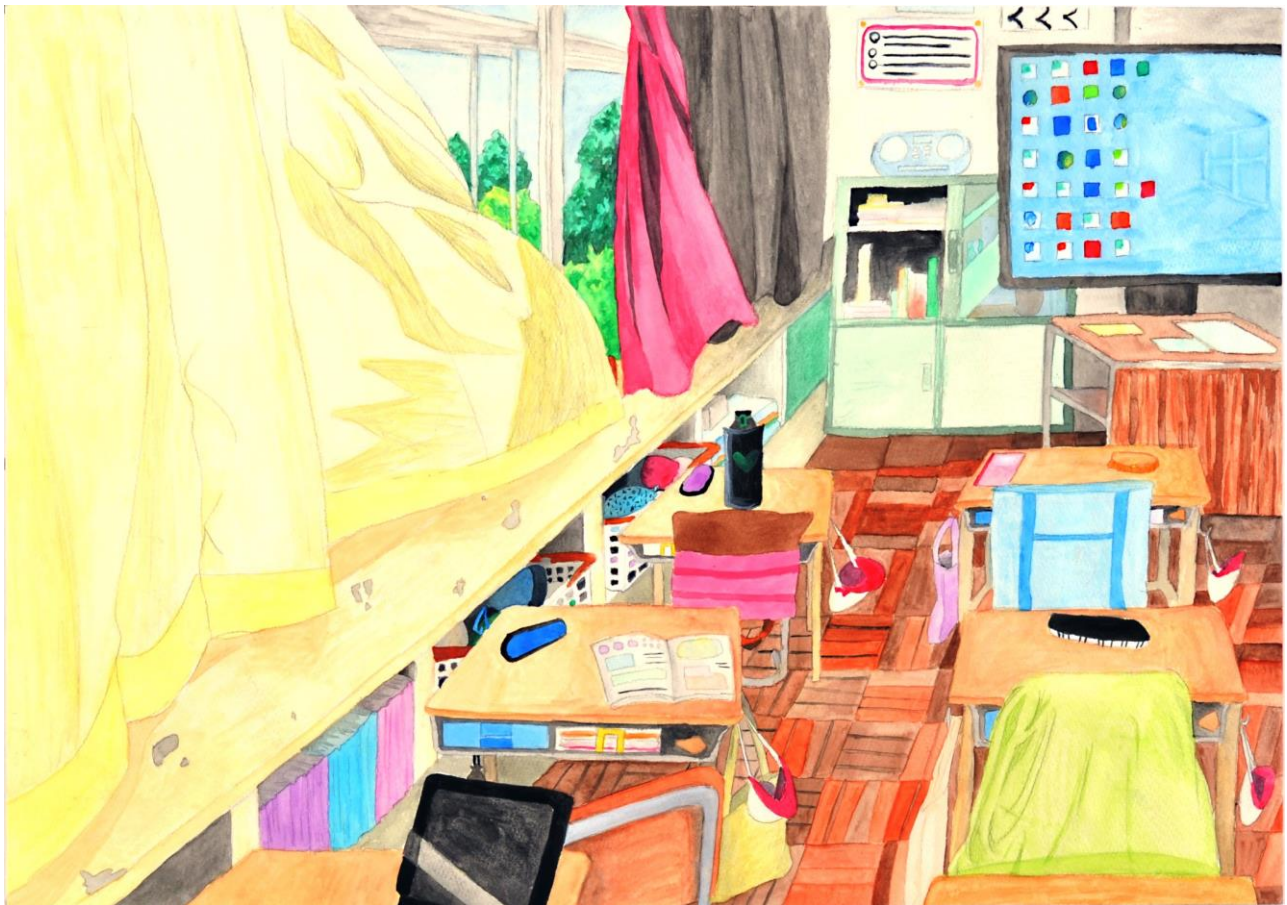
## 小学校高学年の審査に携わって

加須市立三俣小学校長 中島 高広

今年度の審査では、自分の思いを高学年らしい工夫とともに表現した素敵な作品に出会うことができました。特に、自分の内面とじっくり向き合うような静かな作品や、独自の視点で切り取った新鮮な構図の作品に、魅力的な表現がありました。この時期の児童は、低学年から積み重ねてきたつくり出す喜びの体験を基に、表現の幅がぐっと広がってきます。学校や地域などの身近な風景を題材としながらも、独創的な見方や表し方で描いた豊かな作品は、鑑賞者に清々しい感動を伝える力をもっています。

今後も、作者の温かなまなざしと強い思いがこもった「郷土埼玉」の魅力あふれる作品とたくさん出会えることを期待しています。

## 知事賞作品の紹介（小学校高学年）



「カーテンたなびく いつもの教室」  
熊谷市立籠原小学校 6年 井上 優華さん

### 【作者から】

見慣れた教室のカーテンが風にたなびいているのを見て、大好きなこの教室を絵にしたいと思い、描きました。

ある日の教室の様子をありのままに描写したくて、細かい所も手を抜かず、心を込めて描いたので、受賞できて本当にうれしいです。

### 【保護者から】

小さい頃から絵を描くことが大好きで、作品の一つ一つを妥協せず丁寧に描いているのをそばで見守ってきたので、今回の受賞を家族全員が大変喜んでおります。知事賞が励みとなり、ますますいい絵を描き続けたいと希望を膨らませる娘を頼もしく思います。



### 「土手からのけしき」

川口市立原町小学校 4年 神山 和也さん

#### 【作者から】

夜の土手から見た荒川がきらきらと光っていて、きれいだったのでこの絵を描きました。知事賞をもらえて、とても嬉しいです。これからも、たくさん絵を描いていきたいと思います。

#### 【保護者から】

この度は知事賞をいただき、誠にありがとうございます。今後の息子の創作意欲に繋がることと思います。作品を通して、何気ない風景が息子の心にこのように鮮明に残っているのかという驚きと嬉しさを感じることができました。これからも日常の風景の中に美しさを見つけられる心の豊かさを大切にしていきたいと思います。

#### 【作者から】

小人がおさんぼしている様子を描きました。みんなが考えたことのないような町を描きました。知事賞をもらったときには、すごくうれしかったです。そこからもっとうまくやりたいという気持ちもでてきました。学校でがんばってこまかく描いたかいがあったなと感じます。

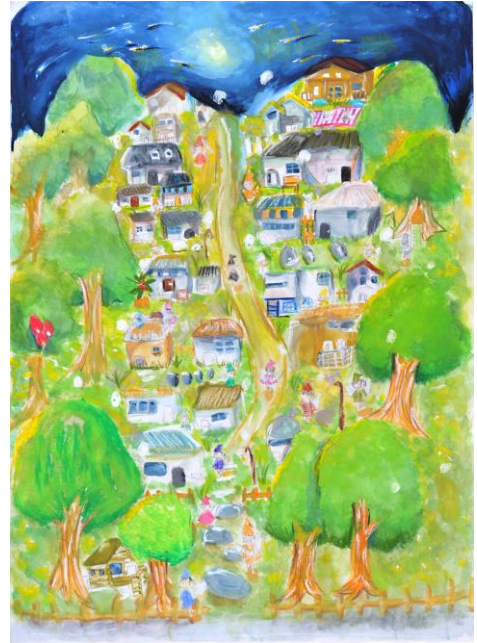
#### 【保護者から】

小さい頃からお絵描きが大好きで、絵を描く時はすごく楽しそうで夢中になって取り組む姿を見ていたので、今回の受賞は本人もすごく喜んでいて自信につながった様子でした。

森の中を想像して、素敵な世界観を細かく描いていて感動しました。今後も大好きな絵を描いて才能を伸ばしていってほしいです。

東松山市立青鳥小学校 5年 神嶋 梨亜さん

### 「森の中のこびとの町」

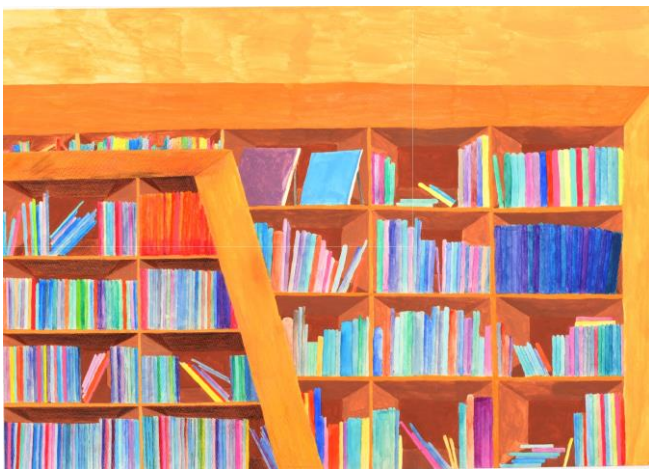


#### 【作者から】

私は学校の図書館で本を選ぶ時に、いつもドキドキ、ワクワクするので、その気持ちを絵に表そうと思ったのが、この絵を描こうと思ったきっかけです。ドキドキ、ワクワクする気持ちは、様々な色を使うことで表現しました。この絵を見ると、図書館にいらなくてもドキドキ、ワクワクしてしまいます。

#### 【保護者から】

一つ一つ丁寧に取り組む娘の長所がこの絵に表れていて、より良いものを作りたい、という最後まで粘り強く諦めない姿は、非常に誇らしく思います。絵を完成させるまでには塗っても塗っても終わらない！と挫けそうになったそうですが、本当によく頑張ったと思います。知事賞、本当におめでとう！



### 「ドキドキ図書館」

草加市立西町小学校 6年 奥田 理埜さん

## 中学生の審査に携わって

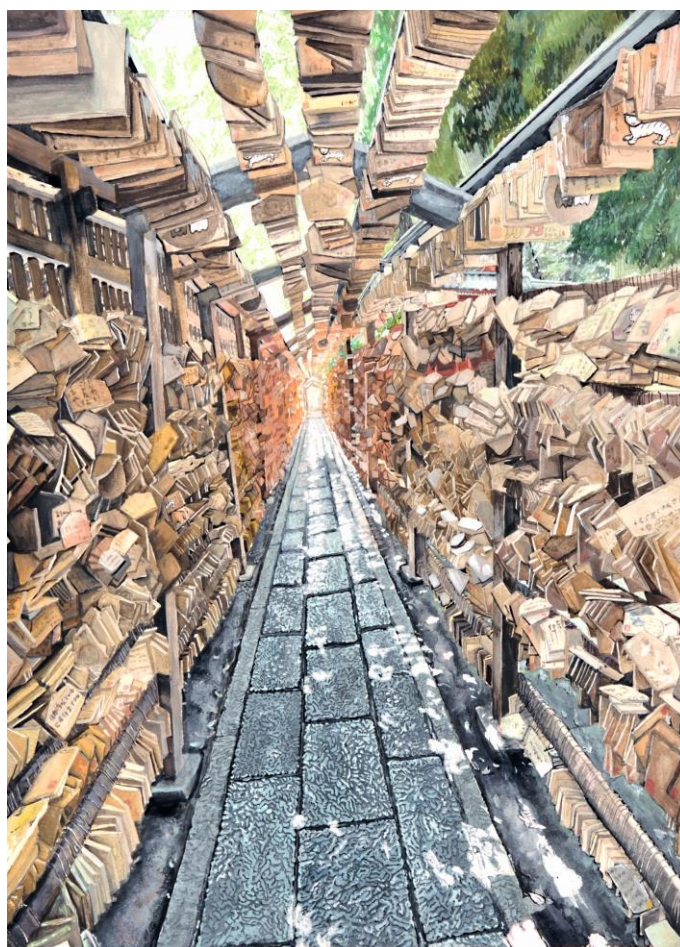
深谷市立上柴中学校長 森田 豊

全体的に充実した作品が多く、時間をかけて丁寧に仕上げている様子が伝わってきました。コロナ禍も3年を経て、学校生活がかつての日常を取り戻しつつあることを感じます。

また、近年、スマートフォンなどで撮影した画像をもとに、水面やガラスへの映り込み、木漏れ日などの細部を描き込む作品が多く見られるようになりましたが、今年もそうした傾向を強く感じました。表現技術の向上は素晴らしいことですが、自分が何に心を動かされ、何を表現したいのかをしっかりと考えて表現することはそれ以上に大切です。今回、知事賞をはじめ、入選した作品は、そうした作者独自の視点や感動が伝わってくる素晴らしい作品でした。

今後も自分の感じ方や考え方をもとに主題を大切に、中学生らしい視点で郷土の姿を表現する作品が増えていって欲しいと願っています。

## 知事賞作品の紹介（中学生）



「絵馬のトンネル」  
川越市立大東中学校 3年 山下 凜空さん

### 【作者から】

中学三年生最後のコンクールになるので、地元の川越氷川神社で撮影した写真の中から集中線の様な一目でインパクトのあるものを選びました。影や森、その他諸々雑になってしまった所もありますが、写真の模写にならない様自分にできるだけ注意して描きました。

### 【保護者から】

絵を描きはじめると集中し、ずい分細かい絵をよく描けるなあと感心しつつも最後まで描けるのかと心配でしたが、やっとの思いで描きあがり、その絵が賞をいただけただけ、とても嬉しく思います。ありがとうございました。本人にとっても自信に繋がる経験になったと思います。



「銀色に光る鴨川と薄明の下校通路」  
上尾市立大石中学校 1年 加藤 咲良さん

【作者から】

この場所は、私が小学生の時から、ずっと通っていた場所です。特に夕暮れになると、川の水面の反射や、空の色の移り変わりが美しく気に入っていました。そんな景色をながめていると、日々の疲れも癒やされて、前向きな気分になることができたので、感謝の意味も込めてこの作品を仕上げました。

【保護者から】

この路は幼い我が子と手を繋ぎ、亀や魚を見つけお喋りしながら散歩した私にとっても思い出の路でもあります。今は中学校の通学路となり、楽しいことや苦しいことなど噛み締めながら歩いたこともあったでしょう。そんな沢山の思い出の路を慈しむように丁寧に時間をかけ、一生懸命描き上げていました。

【作者から】

どこを描こうか悩んでいたときに、姉にこの場所を紹介してもらい、素敵な雰囲気の場所だなと思って選びました。普段からよく通る道なのですが、描いているうちに祖母と一緒に散歩に来たことなど様々な思い出がよみがえってきて、描いていてとても楽しかったです。ありがとうございました。



「昔と変わらない駅近のバス停」  
ふじみ野市立葦原中学校 2年 黒澤 冴さん

【保護者から】

この度は選出して頂き有難うございました。今は亡き祖母との思い出の場所です。「空が描きたかったの。」と言っていましたが幼心に祖母との楽しい散歩をしていた事を覚えていたのでしょうか。空を見上げ更に母への感謝の気持ちが溢れました。有難うございました。



東松山市立東中学校 3年 米塚 壮汰さん  
「春の図書館通り」

【作者から】

図書館で本を借り、トンネルの先の公園で読むのが私の至福の時間です。9年間挑戦し続けた、この美術展は今年で最後。悔いを残さぬ様、一心不乱で描きました。知事賞受賞の報せを聞き、大きな喜びと、郷土展を卒業する寂しさを感じました。今後も新たな目標を見つけ、描き続けたいと思います。

【保護者から】

4年前、家族でこの展覧会を参観した時、息子が当時の知事賞作品に感動し、食い入るように作品を見つめていました。その時から、絵の構図や色彩の濃淡が大きく変わったように思えます。そんな息子の作品が、今回、知事賞を受賞したことを感慨深く思います。ありがとうございました。



## 搬入・入選・特選状況一覧表

地 区	小 学 校					中 学 校					
	搬入 校数	参加 児童数	搬入 点数	入選数	特選数	搬入 校数	参加 生徒数	搬入 点数	入選数	特選数	
さいたま市	105	69,394	6,755	1,397	140	35	17,797	1,054	223	19	
南 部	北足立南	131	72,889	1,409	1,236	162	58	21,546	534	480	54
	北足立北	58	24,984	2,459	432	60	29	13,172	1,202	215	27
西 部	入間	165	75,600	945	945	96	53	21,760	272	272	30
	比企	39	9,532	953	196	23	18	4,932	493	102	12
北 部	児玉	23	4,099	414	79	18	12	2,351	235	44	9
	大里	25	6,180	598	106	19	8	3,150	223	56	8
	秩父	54	16,889	1,120	406	42	29	9,038	617	224	23
東 部	北埼	46	10,803	627	246	27	19	5,905	274	126	15
	埼葛	144	62,228	2,357	1,494	165	76	32,789	817	516	57
私 立 校	0	0	0	0	0	4	421	38	3	3	
合 計	790	352,598	17,637	6,537	752	341	132,861	5,759	2,261	257	

小・中学校	搬入 校数	参加児童生徒数	搬入 点数	入選数	特選数	入選・特選の総計
	1,131	485,459	23,396	8,798	1,009	9,807

※ 知事賞は特選数のうちの120点。

### 画集「郷土を描く埼玉子どもの絵」 第41集刊行

一 図工・美術指導教材に、学校図書館に、ぜひ1冊一

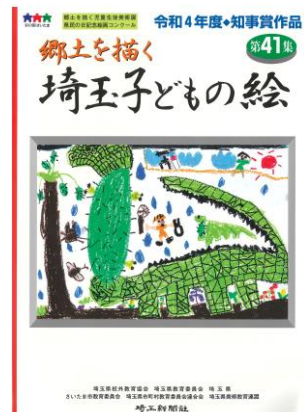
第57回「郷土を描く児童生徒美術展」の知事賞を受賞した120点の作品を掲載した画集「郷土を描く埼玉子どもの絵」第41集が刊行されました。

今回も子供たちの個性が光る素晴らしい作品が揃いました。掲載作品には絵画を描いた児童生徒本人の「作者のことば」が掲載され、子供達の瑞々しい感性を感じていただけるものとなっております。

また、専門家による鑑賞案内「子どもの絵について」や特選を受賞した児童生徒の氏名・学校名も掲載されています。

御家庭や教育現場に1冊いかがでしょうか。

お申込みは、指定教科書販売店、埼玉新聞販売店又は埼玉新聞社出版担当（TEL048-795-9936）までお願いします。





## 看板は「郷土を描く子どもの絵」、特選者名簿でも楽しむ

埼玉県校外教育協会会長 村上博俊

「皆さん、かんばんは！」学校教育・校外教育の看板は、会員の皆さんです！！  
そして埼玉の教育の看板は、児童生徒です。次の世代を担うのですから。

私は川口市教育研究所の日本語指導派遣員として日本語加配のいない学校へ週に数校を担当する崇高な仕事をしている。（ギャグは同音異義語で日本語の好題材。）

郷土を描く児童生徒美術展の特選者の名前を眺めると、年々外国人の方が多くなっている。外国人も郷土・埼玉を愛し、それに絡めて自分の気持ちを絵に表してくれている。

画集「郷土を描く子どもの絵」の特選者名簿のページに、私が日本語を指導している子供の名前があった。特選が1000点、知事賞が120点。画集に絵が載るのは知事賞だけなので、作品は掲載されてはいなかったが自分の名前の載った画集は一生の宝物になるだろう。本人の名前の掲載された画集をプレゼントした。

各学校の図書館にもこの画集が常備されているものと思う。受賞者の励みになることはもちろん、すべての子供たちの参考になる。さらには、先生方の指導の指針ともなるだろう。

- ・「絵」 を見て楽しむ
- ・「絵の解説」 を読み、なるほどとより一層理解でき、楽しめる
- ・「受賞者名簿」で自校の児童生徒がいつ受賞したか確認する
- ・「絵の見方」を読み合わせして研修する
- ・「郷土を描く子どもの絵」そのものが描くための動機付けになる

この画集が各学校に於いて多くの人の目に触れんことを願う。

図書館以外に職員室や校長室、図工室・美術室・保健室・PTA室・応接室、学年室、それに・・などと、私個人の、夢と予算と妄想が、だんだん、じょじょに、どんどん、じゃんじゃん膨らんでいく。

### ◀ (一社) 埼玉県校外教育協会について ▶

昭和35年に社団法人として設立され、埼玉県内の児童・生徒の校外での生活の充実を図る活動の助成及び郷土を愛する運動の促進を図ることに關する事業を行い、児童・生徒の健全な育成に寄与することを目的として活動しています。

平成25年4月1日に社団法人から一般社団法人へ移行し、会員は県内の公立小学校長797、公立中学校長412、公立義務教育学校長1、公立中等教育学校長1、市立特別支援学校長3、私立小学校長5、私立中学校長30、埼玉大学教育学部附属校（小・中・特）の学校長3、市町村長63の合計1,315名であり、事務局は埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課に置かれています。

郷土を愛する子供たちの育成に、今後とも会員（県内各市町村長・各学校長）の皆様のご理解・ご協力をお願い致します。